

平成23年度

# 那須地区社会教育主事有資格教員の 活動に関するアンケート調査結果



平成23年 8月

栃木県教育委員会事務局那須教育事務所

## I アンケート概要

### 1 アンケート調査の目的

今年度から始まった「とちぎ教育振興ビジョン（三期計画）」では、本県の教育目標「とちぎの教育が目指す子ども像」を実現するため、6つの視点とそれに基づく33の重要施策を策定した。その中の「施策（21）ふれあい学習の充実」では、「情報提供や研修機会の充実等をとおして、学校と地域社会との連携において重要な役割を果たしている、各学校配置の社会教育主事有資格者の活動を支援します。」とあり、学校と家庭・地域の連携のカギとなる社会教育主事有資格教員への支援が明記された。

そこで那須教育事務所では、社会教育主事有資格教員の活動状況を把握することが情報提供や研修機会の充実につながると考え、本アンケートを実施することとなった。

なお、アンケート項目については、平成18年度に県内のすべての社会教育主事有資格教員を対象に、県総合教育センターと宇都宮大学生涯学習教育研修センターが行った「社会教育主事有資格教員の活動に関する調査研究」を参考に設定した。

### 2 アンケート調査の方法

#### (1) アンケート調査方法

那須地区内の公立小・中学校および県立学校に勤務する教員（平成23年度社会教育主事受講生及び管理職をのぞく）に対して調査票を送付し、FAXにて回答を得る。

#### (2) 調査対象

公立小学校 49名（33校）

公立中学校 22名（16校）

県立高校 12名（6校）

アンケート回収状況

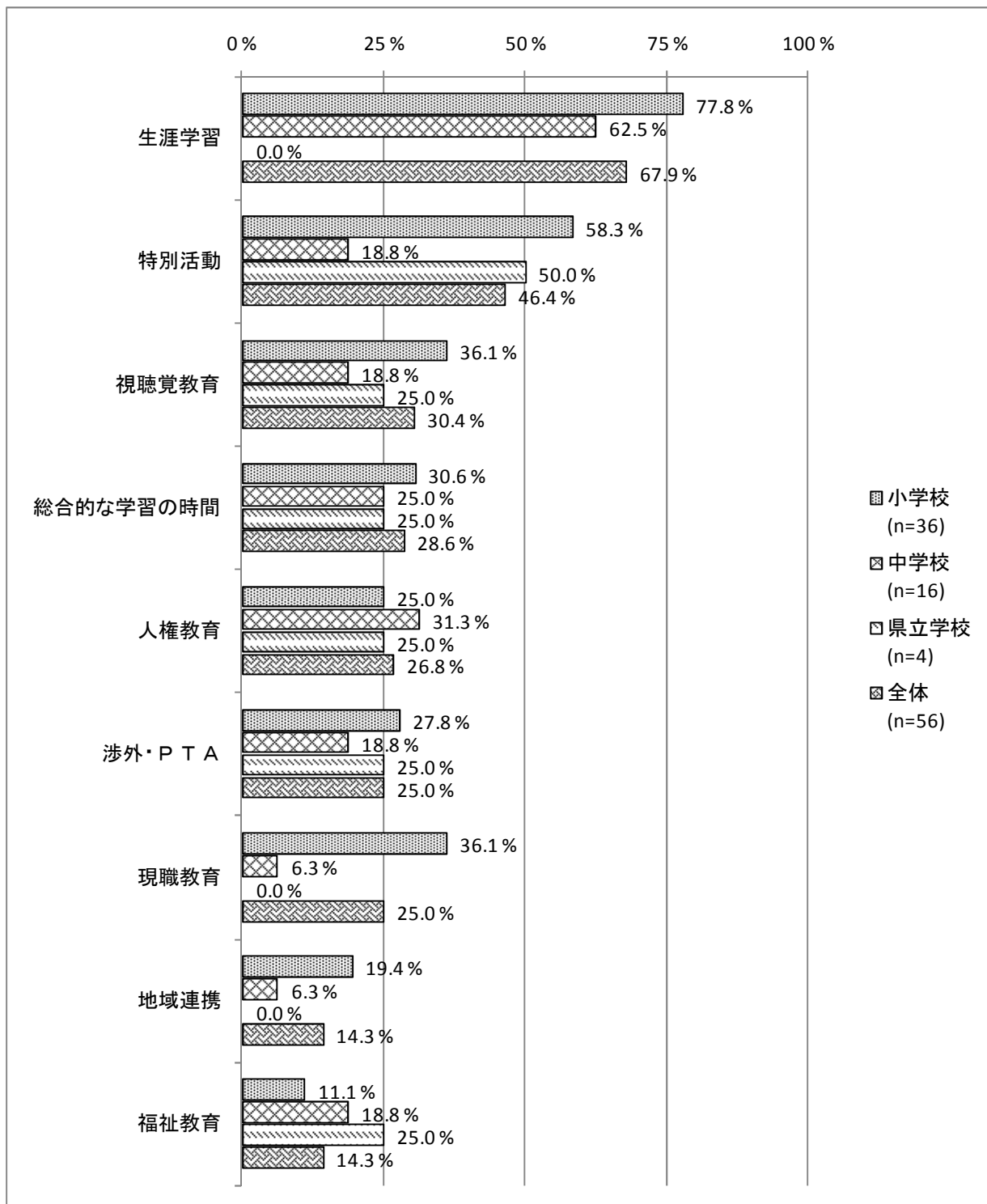
	公立小学校	公立中学校	県立学校	合計
回答数	36	16	4	56
調査数	49	22	12	83
回答率	73.5%	72.7%	33.3%	67.5%

#### (3) アンケート調査期

平成23年6月～7月

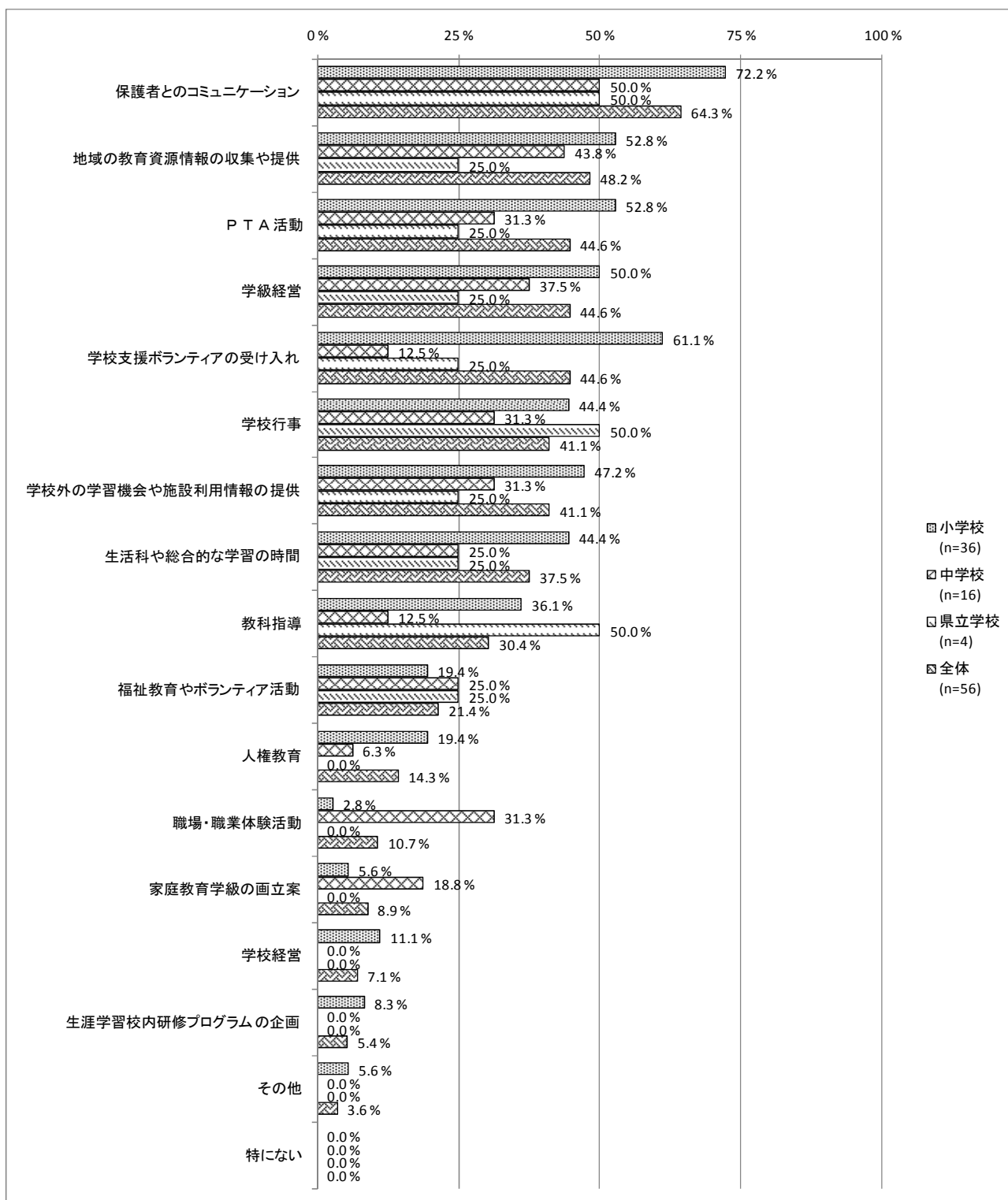
## Ⅱ アンケート調査の結果

問1 あなたが社会教育主事講習を受講してから、これまでに経験した校務分掌はどれですか。（あてはまるものすべて記号でお答えください。）



生涯学習や特別活動を担当した教員が多いのは、H18に行った調査と同様であるが、視聴覚教育や総合的な学習の時間を担当する教員が増えてきているのは新しい傾向といえる。

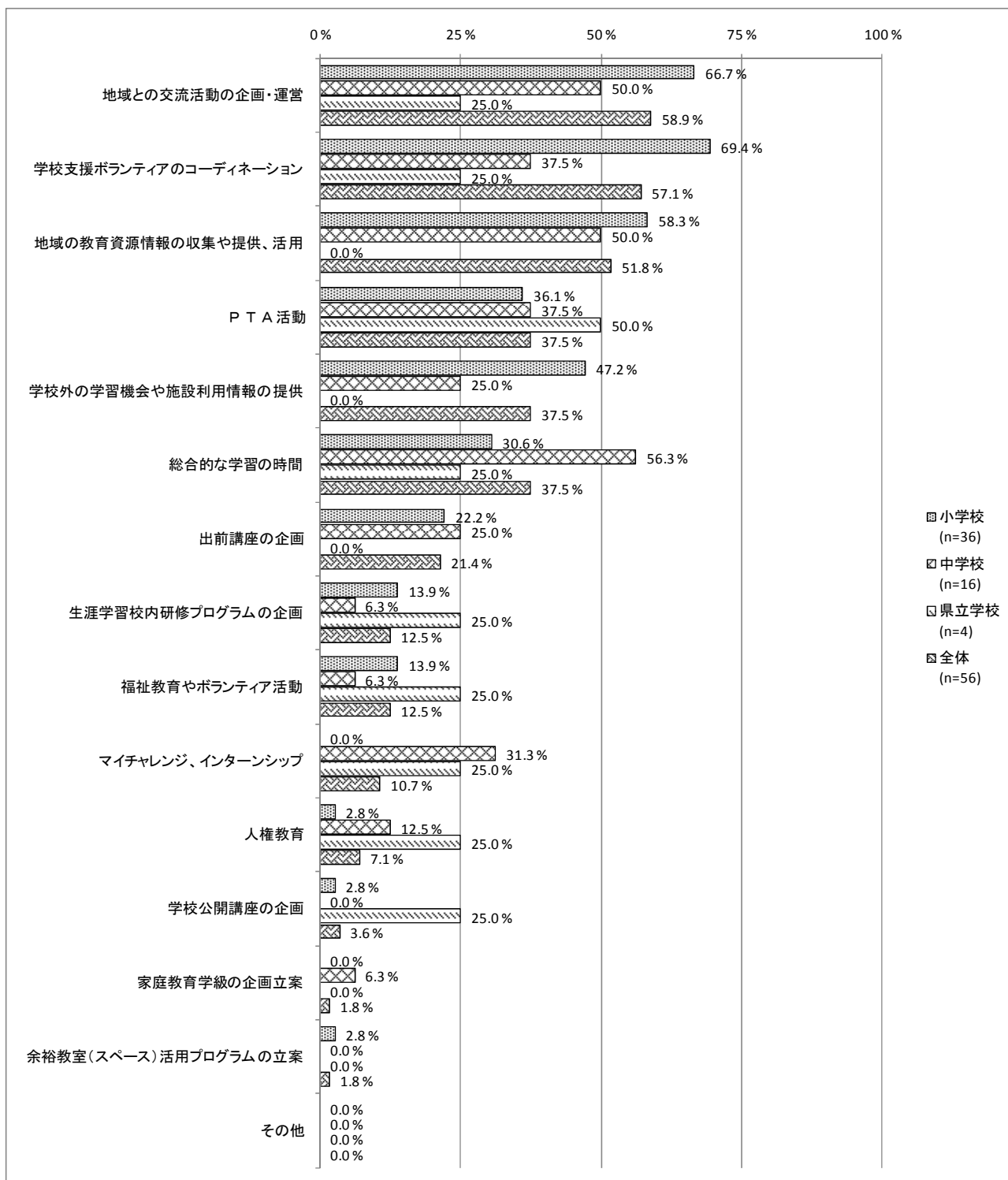
**問2 社会教育主事の資格を取得したことが学校で役に立ったことは何ですか。（あてはまるものすべて記号でお答えください。）**



その他：公民館との連携  
部会行事

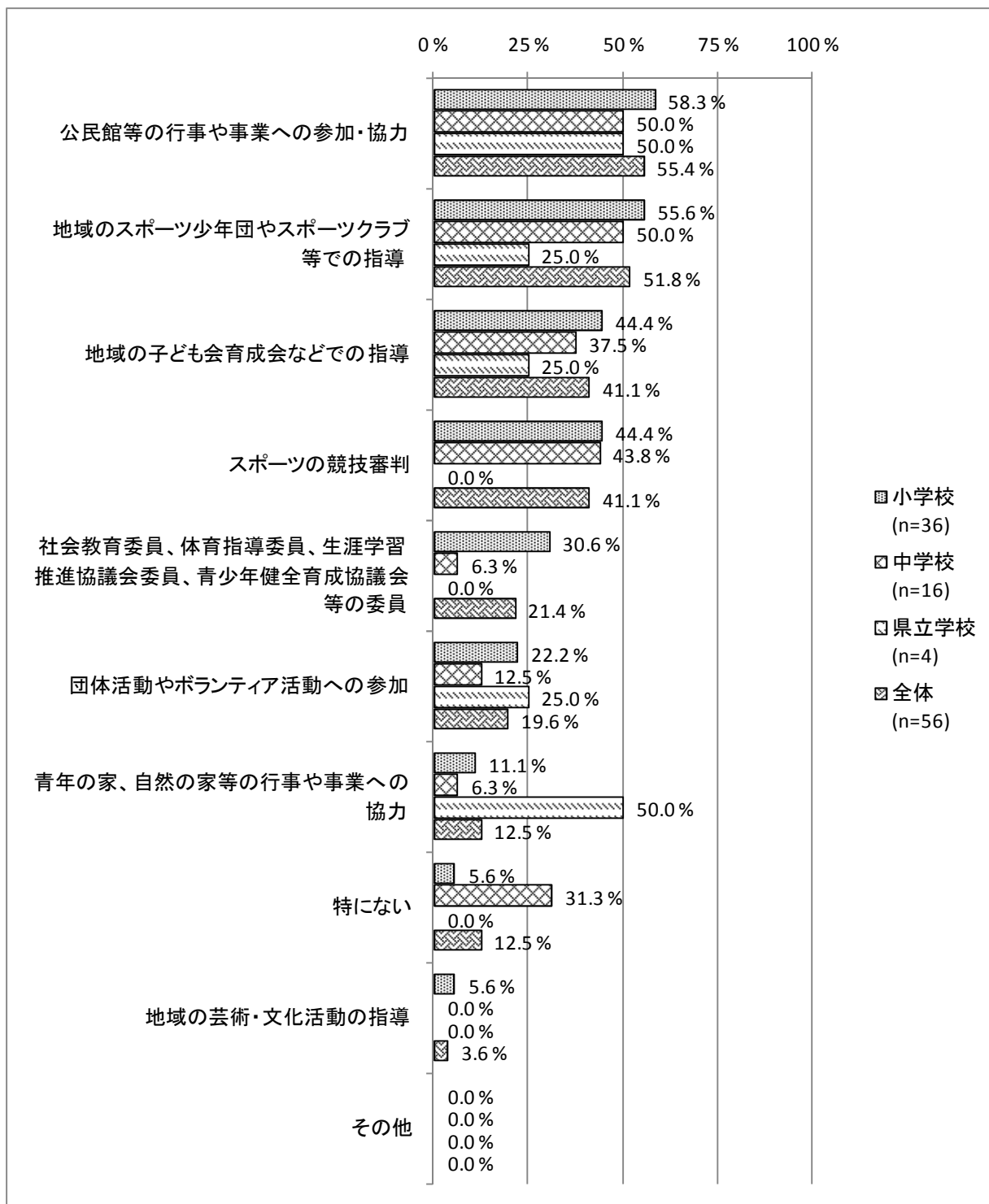
上位3つは、順位の入替えはあるがH18の調査と同様である。社会教育主事の資格は、保護者や地域との連携に大いに役立っていること実感している有資格者が多いことがわかる。

**問3 学校内で社会教育主事有資格教員としての知識や経験が生かせる場として、どのようなことが考えられますか。(あてはまるもの4つまで記号でお答えください。)**



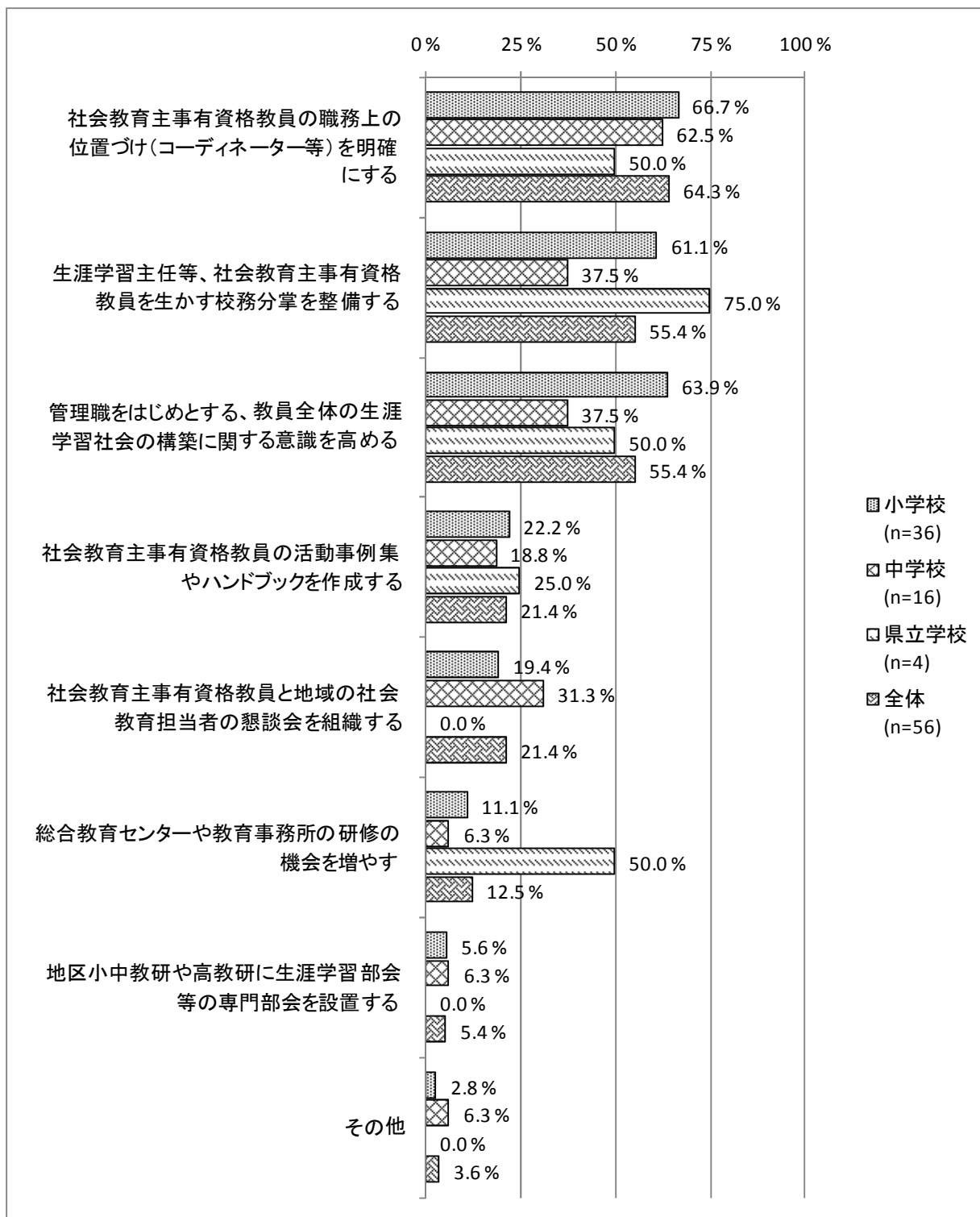
上位5つまでが、H18の調査と同様の順位となっている。「地域との連携」や「学校支援ボランティアの導入」で、有資格教員としての経験を生かせると考えている方が多いことがわかる。また、中学校の有資格者の中には、「総合的な学習の時間」で、その経験を生かせると考えている方が多いのは特筆すべき点と思われる。

問4 あなたは、これまでに次に示す地域での活動に携わったことがありますか。（携わったことがあるものすべて記号でお答えください。）



公民館等で行われている行事や事業へは、参加・協力している方が多い。「地域のスポーツ少年団やスポーツクラブ等での指導」も多いが、H19に本地区独自に行った有資格者へのアンケートでも同じような傾向が見られた。スポーツ少年団の指導等は、身近な地域活動の1つであるといえる。

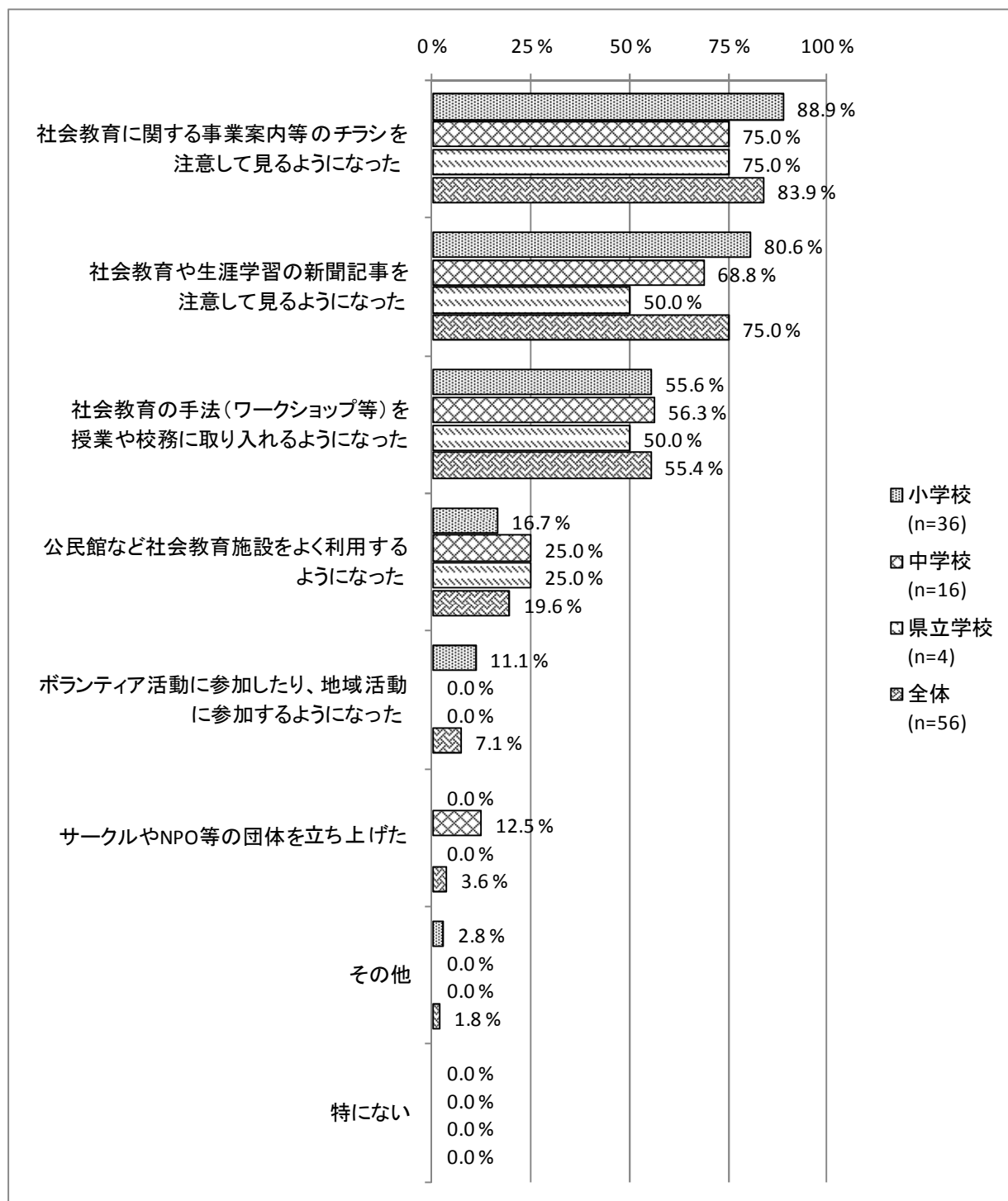
**問5 社会教育主事有資格教員が活躍するために整備すべき条件は何だと思えますか。**  
**(あてはまるもの3つまで記号でお答えください。)**



その他：有資格教員自らが研修など積極的に受け意欲を高めること。

H18の調査と比較して、順位の変動は見られない。いずれの校種でも、「社会教育主事有資格教員の職務上の位置づけを明確にする」が高い割合を示している。

**問6 社会教育主事の資格を取得したことであなたの行動で変化したことは何ですか。**  
**(あてはまるものすべて記号でお答えください。)**

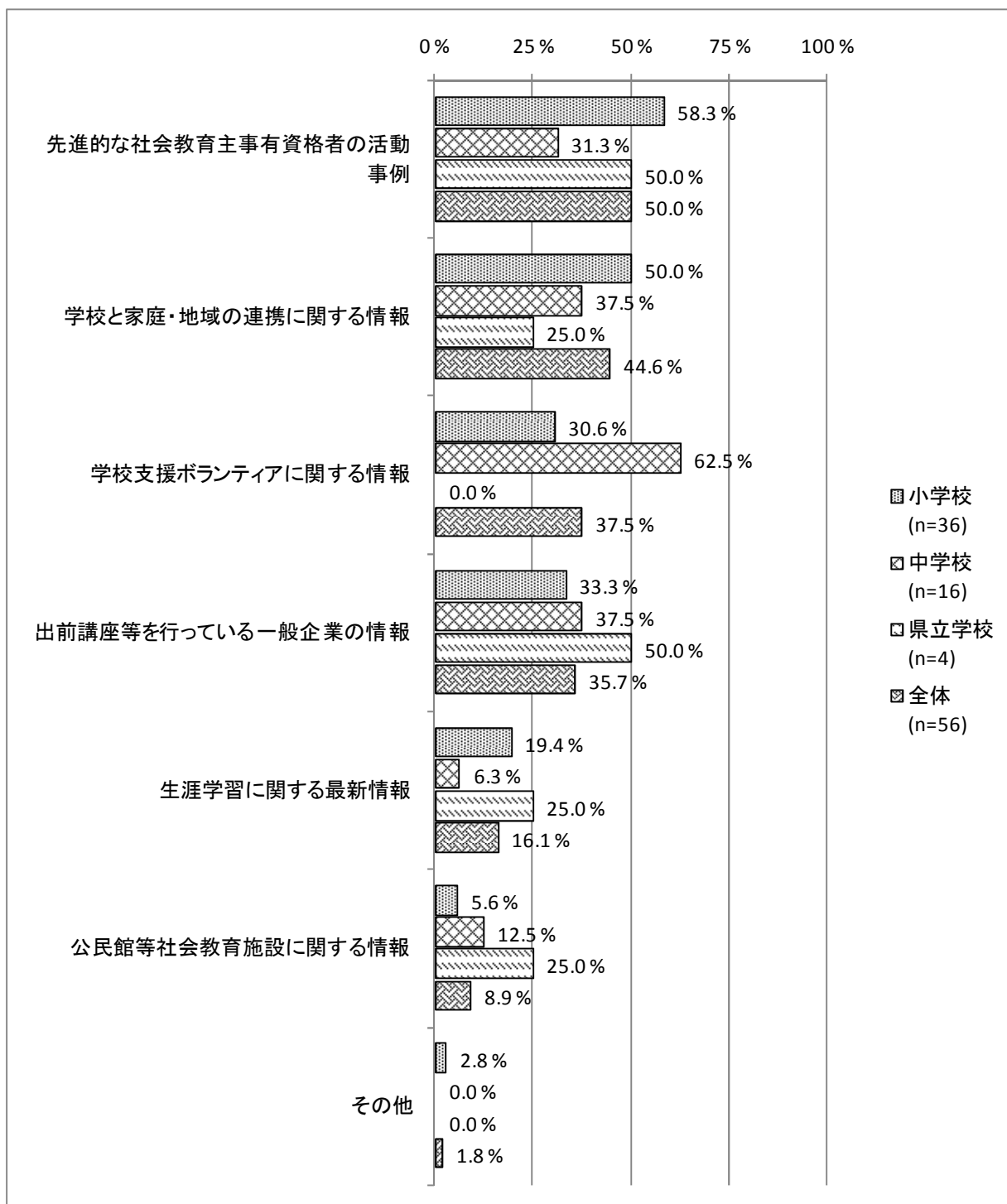


その他：学校教育外に目を向けたり、そこから得るものを仕事に取り入れようと努力するようになった。

H18の調査と比較して、順位の変動は見られない。すべての校種で、社会教育や生涯学習に関する新聞やチラシに目がいくようになった方の割合が高い。



問7 あなたが社会教育主事有資格者として、校内外で活躍するための情報として、どのようなものを希望しますか。（あてはまるもの2つ記号でお答えください。）



その他：現在抱える業務をこなしながら、社会教育主事としての活動時間を生み出す方法。

この設問は、今回独自にもうけた設問である。すべての校種で「先進的な社会教育主事有資格者の活動事例」を希望する割合が高かった。なかなか導入の進まない中学校の学校支援ボランティアについて、中学校の有資格者が情報を欲していることがわかった。

**問8 過去2年間に、学校において具体的にどのような取組をしてきたかを御紹介ください。**

- ☆ 学校ガイドブックの作成。(大田原市立大田原小学校 浅羽 一裕 教諭)
- ☆ 生涯学習担当として、学校支援ボランティアの人材発掘と地域コーディネーターとの連絡調整。(大田原市立宇田川小学校 塚本 敏雄 教諭)
- ☆ 人材バンクの整備、外部人材の紹介。(大田原市立市野沢小学校 佐藤 工 教諭)
- ☆ 総合的な学習の時間の活動計画を見直し。  
(大田原市立奥沢小学校 佐藤善次郎 教諭)
- ☆ 部活動、ソフトボール部の監督  
(大田原市立金丸小学校北金丸分校 小林 延栄 教諭)
- ☆ 空き教室を利用した地域(特に高齢者を中心に)との交流構想  
(大田原市立薄葉小学校 中山 孝志 教諭)
- ☆ 学校安全ボランティアの編成とコーディネート。スポーツ少年団の指導。  
(大田原市石上小学校 楡井 明彦 教諭)
- ☆ 出前講座の企画。学校支援ボランティア活用ファイル作成。生涯学習掲示コーナーの設置。  
(大田原市立佐良土小学校 塚田真由美 教諭)
- ☆ 地域のボランティアの方に参加してもらう学校行事の企画運営。  
(大田原市立佐良土小学校 君 健一郎 教諭)
- ☆ 毎日の朝の交通安全立哨指導やあいさつ運動。  
(大田原市立湯津上小学校 大沼 健司 教諭)
- ☆ 子どもたちとの泥だんご作りなど。  
(大田原市立片田小学校 菊地 久恵 教諭)
- ☆ 地域の方に積極的に声をかけて、授業支援ボランティアとして参加してもらう。  
(那須町立伊王野小学校 安宅伸太郎 教諭)
- ☆ 学校支援ボランティアの受入れ調整。(那須町立田代小学校 谷田貝 崇 教諭)
- ☆ 学校支援ボランティアガイドブックを作成し、H23より活用を開始した。新たなボランティアリストをつくりコーディネートしはじめた。  
(那須塩原市立東原小学校 大島 礼子 教諭)
- ☆ ワークショップを学校評価に取り入れた。  
(那須塩原市立豊浦小学校 黒崎 敬 教諭)
- ☆ 学者連携融合事業の担当・事業実施。  
(那須塩原市立共英小学校 須藤とよ子 教諭)
- ☆ スポーツ少年団の奉仕活動としてゴミ拾いを行った。親子ものづくり教室。  
(那須塩原市立共英小学校 齊藤 悟 教諭)
- ☆ 人権教育や教科学習の中でのワークショップの活用。地域人材の活用を教科学習で行った。  
(那須塩原市立寺子小学校 小山田 聡 教諭)
- ☆ 公民館と学校共催の強歩行事のとりまとめ。チラシの配布。  
(那須塩原市立大原間小学校 亀山 清明 教諭)
- ☆ P T Aの教育講演会を公民館と連携してコーディネートして実施。  
(那須塩原市立大原間小学校 蓮實美恵子 教諭)

- ☆ 地域のスポーツ少年団やスポーツクラブ等の指導。  
(那須塩原市立波立小学校 岡村 則昭 教諭)
- ☆ 出前講座の利用と生涯学習関連情報の校内伝達。  
(那須塩原市立南小学校 吉田 正道 教諭)
- ☆ 教育事務所の出前講座の要請。  
(那須塩原市立南小学校 伊藤 忠 教諭)
- ☆ スポーツの指導や講習会等のボランティア活動。  
(那須塩原市立南小学校 渡辺 英樹 教諭)
- ☆ 親子ふれあい行事で講師として取り組んだ。  
(那須塩原市立西小学校 小針 和彦 教諭)
- ☆ 校務分掌で渉外部・後援会・校外安全対策部に属し、地域の代表者とかかわり、学校の様子などの情報を提供した。  
(那須塩原市立西小学校 磯 健司 教諭)
- ☆ 夏休み教職員による校内作品展。保護者の休日サポートデー(ピザづくり)。  
(那須塩原市立大山小学校 高久 善彦 教諭 加藤 裕美 教諭)
- ☆ 社会教育や生涯学習に関する情報の提供。学校と地域の方、または保護者で活動する行事等を企画・運営。  
(那須塩原市立横林小学校 八木澤康三 教諭)
- ☆ 保護者会で携帯電話の使い方講座。(大田原市立若草中学校 大田原崇泰 教諭)
- ☆ “〇〇教室”などの行事に出前講座を企画し、外部講師を招へいして開催した。  
(大田原市立佐久山中学校 鈴木 敬三 教諭)
- ☆ 学校行事における楽しく、有意義なイベントの企画運営。  
(那須町立高久中学校 藤田 和宏 教諭)
- ☆ 学活の授業でワークショップを取り入れた。  
(那須町立高久中学校 佐藤 隆文 教諭)
- ☆ 「街づくり」のリーダーをお呼びして、黒磯駅前活性化のための取組をお聞きした。「わたしたちの提言」という形で未来の那須塩原市が人に優しく活力ある市になるよう、様々な角度から考えをまとめ、市役所に提言書を出した。  
(那須塩原市立黒磯中学校 小嶋 秀夫 教諭)
- ☆ 介護ボランティアの実施。「疑似老人体験(社会福祉協議会との連携)」の開催。  
(那須塩原市立黒磯北中学校 田村 晃一 教諭)
- ☆ 介護ボランティア体験活動。(那須塩原市立黒磯北中学校 大輪 克哉 教諭)
- ☆ 適応指導教室担当です。教室活動ではボランティア交流会(保育園、NPO「空」)の企画運営や、外部講師(巻狩太鼓、絵手紙等)との交渉及び準備・実施。  
(那須塩原市立厚崎中学校 石田 和美 教諭)
- ☆ 担当学年の保護者対象に「学校ガイド」を作成した。学校支援ボランティアとして登録していただいた保護者に、それぞれの得意分野で授業の支援をしていただいた。外部講師を招き、総合的な学習の時間の活動の活性化を図った。  
(那須塩原市立三島中学校 海老澤康雄 教諭)
- ☆ 生涯学習担当として関係するポスターを構内に掲示したり、チラシの配布を行った。  
(那須塩原市立箒根中学校 新井 昇 教諭)
- ☆ 外部講師を招いて絵手紙講習会を行った。  
(県立那須拓陽高等学校 小島美智子 教諭)

**問9 過去2年間に、地域において具体的にどのような取組をしてきたかを御紹介ください。**

- ☆ 学校支援ボランティア向けの学校ガイドブックの作成  
(大田原市立大田原小学校 浅羽 一裕 教諭)
- ☆ 祭りの委員として計画・運営に参加。  
(大田原市立宇田川小学校 塚本 敏雄 教諭)
- ☆ 生き物調査における講師。(大田原市立市野沢小学校 佐藤 工 教諭)
- ☆ 地域公民館における活動への協力。上奥沢地区生き物調査の協力。  
(大田原市立奥沢小学校 佐藤善次郎 教諭)
- ☆ 青少年健全育成委員。市少年指導員。(大田原市立石上小学校 楡井 明彦 教諭)
- ☆ 学校行事への参加の呼びかけ。(大田原市立佐良土小学校 塚田真由美 教諭)
- ☆ 自治会の活動や育成会活動に積極的に参加した。  
(大田原市立佐良土小学校 君 健一郎 教諭)
- ☆ スポーツ競技審判(相撲)。那須地区小学生相撲教室を主催。相撲競技への参加・協力。  
(大田原市立湯津上小学校 大沼 健司 教諭)
- ☆ スポーツ少年団の監督。(那須町立伊王野小学校 安宅伸太郎 教諭)
- ☆ 「地域の方のお話」を朝会の形式で実施。講師を探し、情報提供を積極的に行う。  
(那須塩原市立東原小学校 大島 礼子 教諭)
- ☆ スポーツ少年団の指導者として、チームにかかわりを持ってきた。  
(那須塩原市立豊浦小学校 黒崎 敬 教諭)
- ☆ 地域の公民館主催事業への参加。  
(那須塩原市立共英小学校 須藤とよ子 教諭)
- ☆ 地域の公民館と共催の事業を行った。地域の花壇に花を植えた(花いっぱい運動)。  
(那須塩原市立共英小学校 齊藤 悟 教諭)
- ☆ 敬老会に婦人部として参加・協力。  
(那須塩原市立大原間小学校 蓮實美恵子 教諭)
- ☆ 公民館等の行事や事業(熊川強歩)への参加・協力  
(那須塩原市立波立小学校 岡村 則昭 教諭)
- ☆ スポーツ少年団の指導協力。(那須塩原市立高林小学校 森永 琢 教諭)
- ☆ 本校では、育成会行事を学校と合同で行っている。田植え、稲刈り、ぼうじぼう、どんど焼きがある。実際に行うのは育成会であるが、職員も割り振って参加している。会議は学校で行うために、担当者である私も参加してきた。  
(那須塩原市立槻沢小学校 高木正順 教諭)
- ☆ 育成会役員を務め、子供会の体験学習の場を設けた。  
(那須塩原市立南小学校 吉田 正道 教諭)
- ☆ スポーツの指導や講習会等のボランティア活動。  
(那須塩原市立南小学校 渡辺 英樹 教諭)
- ☆ 地域のスポーツ少年団の活動支援。(那須塩原市立西小学校 磯 健司 教諭)

